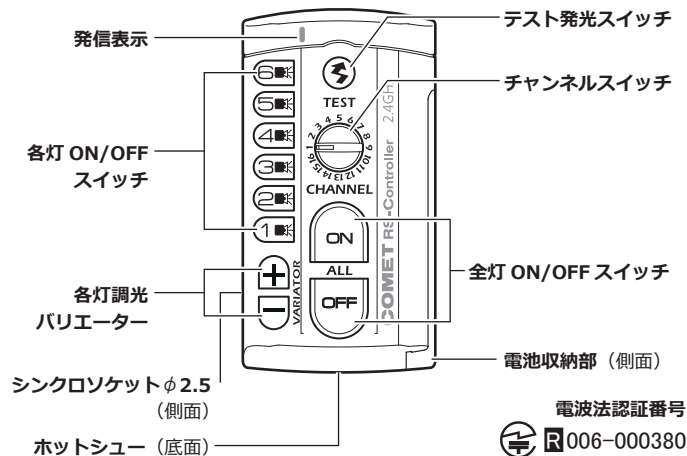


## ■ RS- コントローラー (RS-Controller) 各部の名称



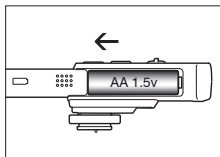
セット内容 ●RS-Controller ●RS-Tシンクロコード ●単3形乾電池(1.5V) × 1 本  
●マニュアル(本書) ●保証書

## ■ RS- コントローラーの設定

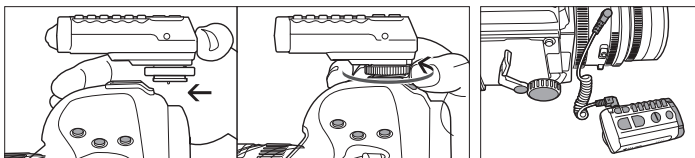
- ① 電池収納部に単3形乾電池(1.5V)をセットします。  
電池収納部の極性表示に従い、正しい向きにセットしてください。

※充電式電池(1.2V)は使用できません。

※電池残量が少なくなるとRS-コントローラーからの操作到達距離が短くなったり、無線シンクロの不発が起きます。このような場合は新しい電池に交換してください。

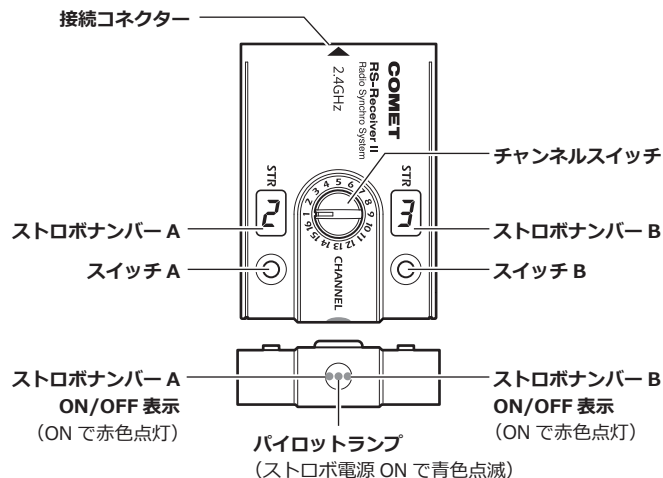


- ② コントローラー底面のホットシューをカメラのアクセサリースューに差し込み、固定リングを締めます。  
シンクロターミナル内蔵のカメラの場合は、付属のシンクロコードで側面のシンクロソケット(φ2.5)と接続します。



- ③ RS-コントローラーとRS-レシーバーIIのチャンネルスイッチ(CHANNEL)を同じチャンネルに設定してください。

## ■ RS- レシーバーII (RS-Receiver II) 各部の名称



## ■ RS- レシーバーIIの設定

- ① ストロボ本体のメインスイッチを「OFF」にしてRS-レシーバーIIを取り付けます。  
② ストロボ本体のメインスイッチを「ON」にしてください。  
RS-レシーバーIIのストロボナンバーが表示されます。  
※ストロボナンバーBを使用しない機種の場合、ストロボナンバーBをOFF(消灯)にしてください。  
スイッチBを2秒間長押しすることでストロボナンバーBをON/OFF(消灯)します。  
③ ストロボ本体のフォトセルスイッチ(P.CELL)を「OFF」にしてください。  
④ RS-コントローラーを使用した同調テストをします。  
RS-コントローラーのテスト発光スイッチを押します。  
RS-コントローラーからの信号を正常に受信するとストロボが発光します。  
⑤ RS-レシーバーIIのスイッチAまたはBを押してそれぞれのストロボナンバーを1~6に設定します。スイッチを1回押すごとに1から6まで1つ送りに表示が切り替わります。

※スイッチAを押すと  
数字が1つ送られて、  
そのまま2秒間押し  
続けると、数字の表示  
方向が上下切り替わります。



- 同じストロボナンバーを2台以上のRS-レシーバーIIに設定しないでください。  
RS-コントローラーは各チャンネルごとに最大6灯操作可能です。

【ご注意】

- 無線シンクロ装置（弊社製）の使用方法につきましては、各製品付属の取扱説明書をご覧ください。
- 無線コントロール装置、無線シンクロ装置（弊社製）は無線LANと同様に2.4GHz帯の周波数を使用しています。  
無線 LAN 環境下では、電波の混信により受信不良を起こす場合があります。  
その場合、チャンネルを変更して同調テストをおこなってから、ご使用ください。  
（使用周波数：2.427GHz ～ 2.457GHz）
- 無線シンクロ装置（弊社製）を RS-コントローラーまたは、RS-レシーバーⅡと併用される際は、無線シンクロ装置のチャンネルスイッチを別紙「無線シンクロ装置とのチャンネル対応表」のように設定してください。  
無線シンクロ装置 RS-発信器 (RS-Transmitter)、RS-受信器 (RS-Receiver) 付属の取扱説明書に記載されたチャンネル表は使用しないでください。
- RS-受信器をストロボ本体とシンクロコードで接続して使用する場合、RS- レシーバーⅡをストロボ本体から取り外してください。

■ RS- コントローラーの操作方法

RS- コントローラーのチャンネル数は 16 チャンネルです。  
RS- レシーバーⅡ（別売）、無線シンクロ装置（RS- 受信器、RS ミニレシーバー、RX-2 受信器）（別売）に対応するチャンネルに設定することで無線シンクロ発光が可能です。  
また、RS- レシーバーⅡを接続したストロボは各チャンネル最大 6 灯までのワイヤレス操作が可能です。

- RS- コントローラーの動作距離は見通しの良い場所で 30 m 以内です。

- RS- コントローラーは複数のボタンを同時に操作できません。複数のボタンを同時に操作した場合、ストロボ本体が誤動作する恐れがあります。
- RS- コントローラーは 5 秒間操作しないと、スリープモードになります。

■全灯ストロボの ON/OFF  
●全灯ストロボの ON

RS- コントローラーの全灯 ON スイッチ (ALL-ON) を押すと、同じチャンネルのストロボが一括 ON します。このとき、ストロボ電源部の表示に出力設定値が表示されブザー音が鳴ります。

RS- レシーバーⅡのストロボ ON/OFF 表示（赤）が点灯します。

●全灯ストロボの OFF

RS- コントローラーの全灯 OFF スイッチ (ALL-OFF) を押すと、同じチャンネルのストロボが一括 OFF します。  
このとき、ストロボ電源部の出力表示に「OFF」が表示されブザー音が鳴ります。  
RS- レシーバーⅡのストロボ ON/OFF 表示（赤）が消灯します。  
※ストロボ電源部のサウンドモード (SOUND) が OFF のとき、ブザー音は鳴りません。

■各灯ストロボの ON/OFF

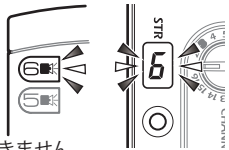
RS- コントローラーの各灯 ON/OFF スイッチ（1～6）を 2 秒間長押しすると、個別にストロボを ON/OFF することができます。

【ご注意】

RS- コントローラーでストロボ本体を全灯 OFF または、各灯 OFF 操作をしてもストロボ本体のメイン電源は「OFF」になりません。ストロボ電源部を長時間ご使用にならないときは必ず、ストロボ本体のメインスイッチ (MAIN) を「OFF」にして AC コードをコンセントから抜き取るか、ブレーカーなどを OFF にしてください。

■各灯ストロボの調光

- ① 調光するストロボを選択します。  
RS- コントローラーの各灯 ON/OFF スイッチを押すと、スイッチが点滅し、該当する RS- レシーバーⅡのストロボナンバーが点滅します。



※ストロボを「OFF」にした状態で、ストロボの調光はできません。  
調光する前に、RS- コントローラーの各灯 ON/OFF スイッチでストロボを「ON」にしてください。

- ② RS- コントローラーの調光バリエーター (VARIATOR+/-) を押してストロボを調光します。1 回押すとストロボ電源部の調光ステップで調光され、ブザー音が 1 回鳴ります。長押しすると 1EV ステップで調光されます。  
調光範囲を超えるとブザー音が 2 回鳴ります。
- ③ 調光が完了したら、各灯 ON/OFF スイッチ（1～6 どれでも）を押すと、スイッチのランプが消灯し、ストロボの選択が解除されます。  
スイッチの選択は、操作しないままで約 5 秒経過しても解除されます。

■テスト発光

テスト発光スイッチ (TEST) を軽く押すと、同じチャンネルのストロボが発光します。

■仕 様

品 名		RS-Controller
型 式		RS-CNTR
使用周波数		2.427GHz-2.457GHz
チャンネル数		16 C H
各灯スイッチ		6
動作距離		30m以内
送信LED		有り（発光、全灯ON信号送信時に点灯）
テスト発光スイッチ		有り
ストロボ調光		各灯スイッチで灯体を選択、 +/- ボタンによる
ストロボON/OFF		全灯：ON / OFF スイッチで全灯ON / OFF
		各灯：各灯スイッチ長押しで各灯ストロボON/OFF
使用電池		単3形乾電池（1.5V）1本
寸 法		43(w)×38(h)×81(d)mm
重 量		45 g
品 名		RS-ReceiverⅡ
型 式		RS-R-2
使用周波数		2.427GHz-2.457GHz
チャンネル数		16 C H × 6 灯
動作距離		30m以内
灯体識別表示		7セグメント (1桁) ×2回路
寸 法		43(w)×61.5(h)×13(d)mm
重 量		20 g

●本仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。予めご了承ください。この仕様は2016年5月現在のものです。

# 無線コントロール装置と無線シンクロ装置を併用される際のご注意

## 無線コントロール装置

RS-レシーバーⅡ



RS-コントローラー

## 無線シンクロ装置



RS-発信器



RS-受信器

RSミニレシーバー



RX-2受信器



無線コントロール装置（RS-コントローラーまたは、RS-レシーバーⅡ）と無線シンクロ装置を併用される際は、無線シンクロ装置のチャンネルスイッチを下記「無線シンクロ装置とのチャンネル対応表」のスイッチポジションに設定してください。無線シンクロ装置 RS-発信器、RS-受信器付属の取扱説明書に記載されたチャンネル表は使用しないでください。

**COMET**® コメット株式会社  
www.comet-net.co.jp

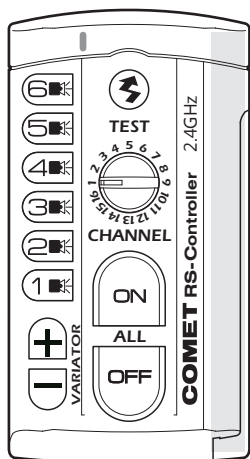
〒174-0063 東京都板橋区前野町3-47-1  
TEL (03)5916-5785 FAX (03)5916-5871

## ●無線シンクロ装置とのチャンネル対応表

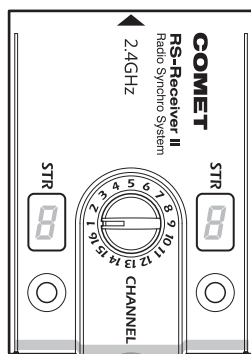
チャンネルナンバー		1CH	2CH	3CH	4CH
RS-コントローラー RS-レシーバーⅡ					
RS-発信器 RS-受信器 RSミニレシーバー RX-2受信器					
5CH					
6CH					
7CH					
8CH					
9CH					
10CH					
11CH					
12CH					
13CH					
14CH					
15CH					
16CH					



## RS-コントローラー／RS-レシーバーⅡ 使用上のご注意



RS-コントローラー



RS-レシーバーⅡ

- RS-コントローラー、RS-レシーバーⅡは無線LANなどと同様に、2.4GHz帯の周波数を使用しています。このような無線機器を使用する環境下では、電波の混信により受信不良を起こす場合があります。

受信不良が起きた場合は、チャンネルを変更して同調テストをおこなってからご使用ください。(使用周波数：2.427GHz ～ 2.457GHz)

- RS-コントローラーから複数のRS-レシーバーⅡ(ストロボ)を操作する場合、極まれに受信できないストロボがでたり、到達距離が短くなるなどの影響がでることがあります。

RS-コントローラーでRS-レシーバーⅡを接続したストロボを操作したときは、コントローラーからのワイヤレス操作がストロボに反映(受信)されていることをご確認ください。

---

# COMET®

コメット株式会社

〒174-0063 東京都板橋区前野町3-47-1 TEL (03)5916-5785 FAX (03)5916-5871